

対策や地域に協力いただく生息環境管理等、今後も取り組みを推進していく。また、特に被害の多い地域については、職員が積極的に現地を訪問するなど、今後ともしっかりと取り組みを行っていく。



市内に出没したイノシシ

若者にとって魅力ある企業の積極的な誘致を

天神ビッグバン等により受け皿が整ってきた今こそ、魅力的な企業の誘致が大切である。これまで以上に積極的に民間事業者とも連携し進める必要があると考えるが、今後の方向性は。

今が企業誘致の好機と捉えている。知識創造型産業の開発拠点や、本社機能の誘致に関する立地交付金等を活用するとともに、国内外に市の魅力を発信することで高度人材や高付加価値なビジネスの集積を図り、若者を選ばれるよう誘致を推進していく。

歴史文化の魅力を持つ箱崎地区の魅力向上や観光活用を

箱崎・馬出エリアは江戸時代の町家も多数残り、魅力的な街並みを形成している。今後箱崎地区のまちづくりを進めていく上で、特長である歴史文化について、魅力向上や積極的な観光活

用を図るべきと考えるが所見を。同地区は歴史文化の魅力を持つ地域と認識し、所有者などと連携し情報発信や公開活用に取り組んできた。今後、回遊性を高めるとともに、魅力ある歴史を分かりやすく発信することで、さらなる魅力向上に取り込む。

博多部に残る旧冷泉小学校跡地について、跡地で発見された遺構の現状と今後の跡地活用の展望について尋ねる。

遺構は日宋貿易に関わる港の護岸として高い歴史的価値を持つものであり、調査終了後、埋め戻して保存している。現在、国史跡指定を目指して関係機関と協議を進めており、跡地活用については、その協議などを踏まえるとともに、地域の要望などを考慮しつつ、跡地活用協議会で意見を伺いながら取り組んでいく。

旧冷泉小学校跡地の遺構の現状と跡地活用について問う

博多部に残る旧冷泉小学校跡地について、跡地で発見された遺構の現状と今後の跡地活用の展望について尋ねる。

同地区は歴史文化の魅力を持つ地域と認識し、所有者などと連携し情報発信や公開活用に取り組んできた。今後、回遊性を高めるとともに、魅力ある歴史を分かりやすく発信することで、さらなる魅力向上に取り込む。

福祉タクシー利用券の運用見直しを

福祉タクシー利用券は、1回の乗車につき1枚の利用に制限されており、交付枚数は年間55枚である。人工透析治療を受けているなどの重度障がい者の外出を支援するため、利用券の運用見直しを検討すべきと考えるが所見を問う。

外支援助など障がいのある方の生活支援は重要である

がん検診の受診率向上には、コミュニケーションツールとしても使いやすいLINEの活用が効果的である。LINEを活用した受診へのアプローチや検診予約の仕組み構築はあるのか。



福祉タクシー利用券

り、当事者の要望や他の障がい福祉施設の実施状況などを踏まえ、外出支援のあり方について総合的に検討していく。

がん検診の受診率向上に向けたLINEの活用を

福岡市公式LINEアカウン

福岡市公式LINEアカウン

福岡市公式LINEアカウン

新型コロナウイルス接種後の後遺症に対する支援を

接種事業を行う市は市民に注意喚起を行う責務がある。また、泉大津市が独自で行っている接種後の後遺症に関する相談や改善プログラム、救済申請のサポートや助成などを、本市も行うべきと考えるが所見を問う。

医学的知見を要する相談対応は県で行われている。市

でも国の救済制度の申請が速やかに進むよう丁寧な支援を行っている。引き続き分かりやすい情報発信を行うとともに、希望者が円滑に接種できる環境を整えていく。

警固公園の魅力向上と名称変更を

警固公園は本市を代表する公園であり、パークPFI制度などを活用し魅力的な公園にしてほしい。また、所在地が警固でないためその機会を捉え、天神を象徴する名称への変更を要望する。近年注目されている同制度の活用状況と今後の予定を尋ねる。

パークPFI制度は、東公園で推進している。今後、同制度をはじめ、さまざまな手法を活用し、魅力ある公園づくりに取り組んでいく。

尾公園、清流公園、明治公園で推進している。今後、同制度をはじめ、さまざまな手法を活用し、魅力ある公園づくりに取り組んでいく。

オンデマンド交通の社会実験の継続など生活交通の確保を

高齢化が進む中、生活交通の確保にしっかりと取り組むべき。我々もオンデマンド交通の社会実験の成功に努めていきたい。期間延長を含め、生活交通確保に取り組んでほしいが所見を。

本市でも、生活を支える基盤が重要になってくる。生活交通確保の取り組みの一つとして社会実験に取り組んでおり、今後とも、持続可能な生活交通確保の仕組みづくりについて、議会の意見も伺いながら、しっかりと取

り組んでいく。

※オンデマンド交通  
予約型の運行形態の輸送サービス

環境、道路、下水道、河川、消防、水道、地下鉄など

環境 啓発だけでなく熱中症対策を急いで実施すべき

熱中症対策を庁内連携の中で一体的に進めるとともに、啓発だけでなく、電気代の支援、エアコン設置の助成、クーリングシェルターの位置づけなど、急いで検討すべきと思うが所見を。

熱中症による健康被害を防止するため、暑さ指数の情報発信や予防行動の啓発などの対策に取り組んでいる。引き続き効果的な啓発を行うとともに、クーリングシェルターの開設に向けた検討を進めるなど、全庁で熱中症対策に取り組んでいく。

国も人工芝がマイクロプラスチックの発生源であることとを認識し、啓発や対策例の紹介を行っている。人工芝から出るマイクロプラスチックについて、本市の対策は行っているか尋ねる。

出前講座などにおいて啓発を行っているが、その中で陸域から発生した人工芝も含めたプラスチックごみが川から海へ流出し、その後マイクロプラスチックとなり、海洋生態系への多大な影響が懸念されることなどを伝えている。

このほかの主な質問

このほかの主な質問

下水道未整備箇所の解消を

下水道未整備箇所は私道に起因するものなど住民だけでは解決に限界がある。市が一歩深く後押しし、未整備率0・05%を解消すべきと考えるが所見を。

下水道は重要な社会基盤の一つであり、未整備箇所の早期解消は大変重要と認識している。これまでも地上権設定による私道への整備や、私道や低地における排水設備設置への助成など未整備箇所の解消を図ってきている。今後とも市民と協力しながら取り組んでいく。

水道水を安心して飲んでもらうための新たな取り組みを

市独自の厳しい基準で水質管理し、貯水槽の適正管理も進んでいるが、漠然とした不安感で水道水の飲用を控えている人がいる。安心して飲んでもらうため、関係業界や管理会社などと連携した新たな取り組みを期待するが所見を問う。

安全でおいしい水道水を安心して飲んでほしいと考え、取り組みを進めるため、関係部局と連携して引き続き先進事例を調査するとともに、関係団体などの意見も伺っていきたい。

このほかの主な質問

このほかの主な質問